

鎌倉仏教

Overview

- * 鎌倉仏教の特徴
- * 法然と浄土宗
- * 親鸞と浄土真宗
- * 日蓮と日蓮宗／正宗

鎌倉仏教の概観

浄土系	浄土宗	法然	念仏
	浄土真宗	親鸞	念仏
日蓮系	日蓮宗	日蓮	題目
	日蓮正宗	日蓮、日興	題目
禅宗	臨済宗	栄西	座禅、公案
	曹洞宗	道元	座禅

平安仏教と鎌倉仏教

- * 平安時代の仏教（天台宗、真言宗）
- * 統一的な体系を追求。中国から取り入れた仏教。
- * 国家鎮護のための仏教。
- * 鎌倉仏教
- * いかにして救われるのか。簡素な信仰・信心を基礎にした救い。日本的仏教。
- * 民衆にも届く救済。既成仏教、幕府、朝廷から弾圧を受ける。

プロテスタント宗教改革との類比

- * 時代背景
 - * 中世カトリック教会の腐敗・形式化に対する抵抗運動（プロテスト）
- * 宗教改革の原理
 - * 「信仰のみ」「聖書のみ」「万人祭司」
- * ルター
 - * 修道生活をやめて、結婚し、家族を持つ（親鸞との類比）

法然と浄土宗

法然 (1133-1212)

- * 専修念仏 (single practice nembutsu)
- * 念仏 (the Pure Land chant) 以外を阿弥陀の本願を阻むものとして退け、念仏のみであらゆる人間が救われると説いた。
- * 南無阿弥陀仏
(Hail Amida Buddha)



せんちやく 『選択本願念仏集』

- * *Passages on Choosing the Original Vow and the Nembutsu*, 1197
- * 貧しい人、愚かな人、「悪人」、武士、農民、すべての人が念仏を唱えることによって救われる。
- * 女性を救済から閉め出してた既存の仏教を批判し、説法の座を女性にも開放。

聖道門と浄土門

- * The Gate of the Saintly Path and the Gate of the Pure Land
- * 口では戒律を尊びながら、退廃した生活をしている僧たちの実態を批判し、浄土門以外の教えを「聖道門」と呼んで批判した。
- * 自力と他力 (本願)

専修念仏への弾圧

- * 興福寺と延暦寺は、僧兵の力を背景に法然に対する弾圧を始めた。
- * 1200年、鎌倉幕府が念仏を禁止。
- * 1206年、朝廷も弾圧を強め、濡れ衣を着せられた弟子たち四名が四条河原で斬られ、法然と弟子 (親鸞も) たち8名が流罪となった。
- * 法然は帰京を許された翌年 (1212年)、80歳で死去。弟子の源智が大谷の地に法然の遺骨を納め、のちの知恩院を創建した。

知恩院



親鸞と浄土真宗

親鸞 (1173-1263)

- * 比叡山で9歳のときに得度し、20年にわたり厳しい修行を積むが、比叡山の退廃に絶望し、法然のもとに。
- * 1206年、法然に仕えて5年ほどで、専修念仏の弾圧事件が起こる。親鸞は4年で罪を許されるが、流罪先の越後にとどまった。それ以降、非僧非俗の立場を貫く。
- * 1214年、42歳の時、親鸞は妻・恵信尼と共に東国へ旅立つ。そこで独自の考えを展開する。
- * 1231年、京都に戻る。『教行信証』（のちに浄土真宗の根本聖典となる）を著す。
- * 1263年、90歳で死去。



親鸞の教え

- * 徹底した他力による救済
 - * 阿弥陀の本願を信じれば、ただ一回の念仏で救われる。
- * 悪人正機説
 - * 「善人なをもて往生をとぐ、いわんや悪人をや」（『歎異抄』第三章）
If even a good person can be reborn in the Pure Land, how much more wicked person!
- * 自然法爾（じねんほうに）
 - * 自力をすて、阿弥陀仏の絶対他力に任せきること。

プロテスタントとの比較

- * Karl Barth (1886-1968)
 - * 法然・親鸞の運動を「日本のプロテスタント主義」と呼んだ（『教会教義学』II/2、265頁以下）。
- * Buddhist Churches of America
 - * 浄土真宗本願寺派による布教。
 - * 座禅をめぐる日米間の論争。



本願寺教団

- * 徳川家康は、三河一向一揆で窮地に陥れられた経緯があり、本願寺内部の対立を利用し、本願寺を分立させる。
- * 1602年、「准如を十二世法主とする本願寺教団」（現在の浄土真宗本願寺派）と、「教如を十二代法主とする本願寺教団」（現在の真宗大谷派）とに分裂する。

東本願寺・西本願寺



御影堂

日蓮と日蓮宗／正宗

日蓮 (1222-1282)

- * 鎌倉で学び、その後、比叡山へ。
- * 浄土教に対抗できる新しい法華信仰を打ち立てようとした。
- * 1271年、日蓮は幕府によって佐渡に流される。
- * 1274年、許され鎌倉に戻り、その後、身延山に久遠寺を開く。
- * 1282年、60歳で死去。



法華経の重視

- * 法華経 (妙法蓮華経, the Lotus Sutra) のみ
- * 題目：南無妙法蓮華経 (Hail the marvelous teaching of the Lotus Sutra)
- * 他の宗派を否定。「念仏無間、禅天魔、真言亡国、律国賊」(四箇格言)を唱える。
- * 折伏 (しゃくぶく、break and subdue)

「日本」への関心

- * 1260年、『立正安国論』 (Establish righteousness and pacify the country) を著す。法華経に基づく政治を目指す。
- * 日蓮は、天皇を王法 (政治) の主体として位置づけるが、宗教上での権威は認めなかった。天皇であっても仏法に背けば仏罰をこうむる。
- * 二度の元寇を日蓮は仏罰と受けとめた。
- * 「日本」という国を視野に入れる。

日蓮宗と日蓮正宗

- * 日蓮宗：身延山久遠寺 (山梨県) を総本山とする。日蓮宗系の大学として立正大学がある。
- * 日蓮正宗：日蓮を宗祖とし、日興を開祖、大石 (たいせき) 寺 (静岡県) を総本山とする。
- * 創価学会は日蓮正宗から分離独立。